

七小校長室便り

開校50周年

国立市立国立第七小学校

校長室便り No.7 令和4年(2022年)11月7日

しばらくぶりの校長室便りです。

9月の初めに発行したまま、NO.7にたどり着くまで、かなりの時間が経ってしまいました。できる限り、読んでいただいている皆様に知っていただきたいことや情報として共有したいこと等、私なりに選択をしてお知らせしてまいりましたが、この9月から10月においては、本校の教員の授業観察や面談、職員の皆さんとの懇談等に時間を要してしまい、ようやく11月に入り、今号の発行となりました。

実は、以前にもお話をしたことがあると思いますが、本校は、教職員数においては、大規模校の教職員数に近く、様々な職の方がそれぞれの役割をもって、子供たちの育成に関わっていただいています。今回は、その方々について、簡単ではありますが、お知らせしたいと思います。

○都事務と市事務(各1名)

⇒事務室で勤務していただいております、国立市に任用されている方が市事務です。東京都に任用されている都事務とともに、学校事務の仕事を、それぞれ分担して行っています。

○学校司書(1名)

⇒学校図書館に勤務をしており、主に図書室の書籍の管理や読書指導等を教員とともにいただいております。様々な教育活動と連動した取組をしていただいております。

○ALT(1名)

⇒3・4年生の外国語活動、5・6年生の英語において、外国語(英語)の指導を行っていただいております。本校においては、外国語を指導する専門の時間講師とともに、子供たちの外国語における能力向上を担っていただいております。

○スクールサポートスタッフ(1名)

⇒教職員が教育活動を円滑に、また、学習指導に専念をする時間を保障していくことを目指して、教職員がこれまで行ってきた事務的な仕事を行っていただいております。印刷物の印刷や配布などの事務的な仕事の一部を担当していただき、教職員が子供たちと向き合える時間を生み出すなど、尽力いただいております。

○用務主事(2名)

⇒子供たちや保護者の皆様に、安心して安全に使用できる学校環境の整備を主にいただいております。校内清掃はもちろんのこと、学校敷地内にある樹木などの対応も行っていただいております。

○スマイリースタッフ(4名)

⇒各学級の子供たちの学習支援や引率、個別対応など、担任と協力をして子供たちの支援をしていただいております。国立市が推進している制度であり、各校の状況に応じた人数が配置されています。

○家庭と子供の支援員(2名)

⇒子供や家庭のニーズに応じて対応していただいております。保護者の方と連携をした上で、必要な対応を個別に支援していただいております。

○交流及び共同学習支援員(1名)

⇒特別支援学級のくるみ学級の子供たちが、各学年の学級で活動する際に中心になって支援をする方です。くるみ学級の大切な教育活動である交流学习を支えていただいております。

○特別支援学級指導員(4名)

⇒特別支援学級のくるみ学級の子供たちを、くるみ学級担任と協働して関わり、支援・育成していただく方々です。

○特別支援教育専門員(1名)

⇒特別支援教室はばたきの教員と保護者や家庭とのパイプ役であり、はばたきでの学習指導の支援や保護者の方との連携、また、特別支援教室に関わる各種機関との連携等をコーディネートしていただいております。



○ICT支援員（1名）

⇒学校のPC端末を活用するにあたり、学習指導の支援や技術的支援をしていただいています。

○時間講師（5名）

⇒学校運営において中心的な役割を担っている教員の働き方を保障することや、子供たちの指導上、専門的知識をもって関わっていただく方々がいらっしゃいます。時間で働かれていますので、常にいるとは限りません。決まった曜日や時間で子供たちの指導をしていただいています。

○スクールカウンセラー（1名）

⇒学校生活や様々な教育相談などで、子供たちや保護者の皆様に対応いただいている方です。週に1日の勤務ですが、私たちにとってもとても頼りになる専門家でもあります。

○給食配膳員（3名）

⇒子供たちの楽しみにしている給食を各学級等に分けて、運んでいただいている方々です。もちろん片付けも行っている皆さんです。子供たちの食育においてなくてはならない方々です。

○警備員（2名）

⇒教員の勤務時間外で学校の警備や保護者の方々の対応をしていただいています。コロナ禍においては、休日等の保護者の皆様と学校の大切なパイプ役にもなっています。

以上のように、31名の教員以外に、総計31名の方々が本校を支えていただいています。一つ一つを丁寧にお伝えできないことは、心苦しいところではありますが、現在の学校現場において、特別支援教育の推進や教員の働き方改革など、学校課題の解決において、どの方がいらっしゃらなくても、適切に行うことができないとって過言ではありません。そのためには、教職員が互いを尊重し認め合いながら、有機的に関わるのが大切です。チーム七小を目指している限り、本校の教職員が先ず振る舞いに気を付け、お互いがお互いを律しあえる集団でありたいと思います。そして、全ての教職員が連携して、よりよい教育活動になるよう努めてまいります。

【校長のつぶやき】 令和3年度に国立市に着任してから、1年半以上となりました。まだまだ、国立市のことや本校のこれまでのことをよく理解しているとは言えませんが、お陰様で、もう長らく本校の校長にいらっしゃるような錯覚を覚えるほど、皆様には、よくしていただいております。

特にPTAの皆様には、昨年来、様々なことにおいて、ご相談いただいたり、こちらからお願いをしたりと学校教育を推進するうえで、とても協力的に関わっていただいています。PTAの皆様や保護者の皆様からは、よりよい教育活動やPTA活動になるために、様々なご意見やご相談をいただく等、有難いところです。

今回、開校50周年の年に発行いただきました「つみき」においては、小さい頃の夢でもあった宇宙につながる宇宙飛行士として、表紙を飾らせていただきました。天文学者になりたいと卒業文集に残した言葉が、ある意味で、実現したように思います。表紙のデザインにおいて、工夫していただきましたこと、改めて御礼を申し上げます。ありがとうございました。

また、この場において広報部の方々には、ご迷惑をおかけしてしまったこともお詫びしなければなりません。本校職員の名前において確認が甘く、訂正の文書を出していただくことになってしまいました。お手数をおかけしまったことに、心からお詫び申し上げます。申し訳ありませんでした。これからのPTA活動と学校の教育活動もよりよく連動していくよう、努めてまいります。

今年度は、PTA活動において、様々な工夫されたり、判断をされたりしております。この間、発行いただいたPTA便りには、校長及び副校長の挨拶文はありませんでした。PTAの皆様から、私たち校長・副校長の適切な機会における挨拶文の掲載を考えていただき、私たちとしても、有難く、そのようにさせていただきました。また、PTAの運営委員会においても、今年度は、いられる限りは、その場でいさせていただき、学校とPTAが連動し、協働している姿を示していきたいと考え、了解していただきました。更には、運営委員会の開催についても、コロナ禍も相まって、実施における適切な判断もしていただいています。

子供たちを育てるには、私たち大人がどこまでも適切に関わる姿や協働した活動を見せること、実感を伴うようにしていくことが大切だと思います。これからも、PTAの皆様と様々な連携し、相談しながら、よりよい国立第七小学校にしてまいりたいと思います。

開校50周年の取組も、これから様々な取組を展開していきます。

校長室便りや学校便り等を通じて発信してまいります。

引き続き、ご理解とご協力をお願いいたします。

